

拝啓 今年も早や7月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。梅雨が明け、今年も暑い夏がやって参りました。近所の公園ではむくげの花が炎天に負けず元気よく咲いております。

今月は、石館守三先生の文章の 10 回目です。同志会OBの村上劉治さんが編纂された資料「石館守三先生金曜会語録」からの引き続きの引用です。

7月20日(日)は、『南原繁と国際政治』が出来上がり、西原賢太郎氏に手伝ってもらって、エディテックス社で、終日発送作業をしました。

7月22日から24日まで、3日間、岡山、香川に旅行してまいりました。7月22日は岡山の実家に帰り、墓参りに行き、その帰り、中学、高校時代の恩師原田元衛先生のお宅をたずねました。原田先生は、高校時代、私に登山の楽しみを教えて下さった先生です。いろいろな山の昔話をして、愉快でした。

7月23日は、岡山から、JRで瀬戸大橋を通過して高松に行き、香川県教育センターの主催で、約120名の小・中学校、高等学校の新任の校長、教頭先生方に「リーダーシップと人材育成—南原繁の生涯に学ぶ—」という題で、1時間15分講演しました。出発直前に思いついて『我が望—少年南原繁—』の著者岩本三夫先生を速達でお誘いしたところ、ご都合よく出席され、講演とその後の質疑応答懇談会に出席して下さい、光栄でした。岩本先生は91歳でした。

高松駅の近くのホテルに止まり、7月24日の朝、港の突堤の先の灯台まで散歩したのですが、プロムナードコースとして整備されており、朝日が海面にキラキラと光り、実に感銘を受けた散歩でした。これまで、こんなに素晴らしい朝の散歩をしたことがない、と思ったほどでした。

10時30分ころ、大塚国際美術館に行きました。今回は、私は4回目でしたが、ある人を案内して、「システィナ礼拝堂」、ラファエロの「アテネの学堂」、デューラーの「四使徒」、ダヴィンチの「最後の晩餐」、「モナリザ」、セガンテニーニの「アルプス風景3部作」などを中心に見てまわりました。予習をしたおかげで、あの巨大美術館の絵のだいたいの配置が頭に入りました。午後その人が先に帰られた後、美術館の学芸部課長の市川敏之さんが、たまたま同行者がなく私一人マン・ツー・マンで古代・中世の展示(B3階)を案内してくれました。古代・中世は普段は省略する部分で、大変良い勉強になりました。

それでは、皆様、これから暑さが厳しい時期が続きますが、どうかお身体ご自愛の程、祈り申し上げます。

敬具

平成26年7月25日

山口周三

エンカウターの読者各位